



うちのイチ押し!

2019大阪市生涯学習ルームふえすていばる

～来て 見て 24区のふれあい!!～

大阪市では、市内の小学校の特別教室等を活用して、市民のみなさんの文化・学習活動や講座等の開設を通じた学習機会の提供を図る「生涯学習ルーム事業」を実施しています。

各区による特色あふれる体験コーナーや、様々なジャンルで見ごたえのある舞台発表、魅力いっぱいの作品の展示、見ているだけで楽しい手づくり市など、盛りだくさんな内容で、子どもから大人の方まで、どなたでも楽しめる内容となっています!

この機会にぜひ、生涯学習ルームの世界を満喫してください!!

令和元年 **10月27日(日)**

10:00～16:00

10:00～10:10 オープニングセレモニー
10:15～16:00 体験コーナー、作品展示等
10:30～15:00 舞台発表
(予定)



体験コーナー及び手づくり市の写真(イメージ) ※数に限りがあります。一部変更になる場合があります。

【各区による体験・展示等】

- 様々な体験コーナー
(オリジナル小物作り、編みもの、絵手紙、チョークアート、おもちゃ作り、フラワーアレンジ、ぬり絵体験など)
- 作品展示、手づくり市
- 舞台発表
(コーラス、ダンス、民謡、楽器演奏、太極拳、体操、詩吟など)

会場：【体験コーナー、作品展示等】難波市民学習センター (OCATビル4階)
【舞台発表】OCATモール ポンテ広場 (OCATビル地下1階)
大阪市浪速区湊町1-4-1

アクセス：【JR】大和路線(関西本線)「JR難波」駅直結
【Osaka Metro】御堂筋線・四つ橋線・千日前線「なんば」駅
【近鉄・阪神】「大阪難波」駅 【南海】「難波」駅
各駅より地下街なんばウォーク・OCATウォークを通して、OCATビルへ直結
※公共交通機関をご利用のうえお越しください。

費用：無料(体験コーナー等一部材料費が必要)

主催：大阪市生涯学習推進員協議会・大阪市教育委員会

問合せ：6539-3347(大阪市教育委員会事務局生涯学習担当)



おおさか歴史探訪 139

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

帝国座跡

—大阪市中央公会堂に影響を与えた? 名建築—

明治10年代、緋色の陣羽織に日の丸の軍扇という出で立ちでオッペケペー節を歌って人気を博した川上音二郎(1864-1911)。明治24(1891)年には堺の「卯の日座」で書生芝居を始め、その『板垣君遭難実記』では「板垣死すとも自由は死せず」の名句を流行らせました。そして明治43(1910)年、愛妻にしてわが国の女優第一号として知られる貞奴とともに新派劇の拠点として建てたのが「帝国座」です。

その場所、現在の中央区北浜4丁目4番は、江戸時代には著名な町人学者・山片蟠桃の屋敷があり、明治13(1880)年、移転前の愛珠幼稚園が開園したところでもあります。関西初の西洋式劇場となった建物は、煉瓦造3階建、建築面積約840㎡で、設計は辰野・片岡建築事務所、施工は大林組という最高水準の建築でした。また舞台部分が劇場の半分を占めるという画期的なつくりで、舞台上には5千燭以上の電燈が3基備えられ、その明るさは蟻の這うのが見えるほどだったといわれます。そして正面入口側には中央公会堂(大正元年に設計コンペが行われた)に通じるような4本の長大な柱が立っていました。落成興業にはシェイクスピアの「ロミオとジュリエット」が上演されています。

ところが柿落としの翌年10月、音二郎は広島公演中に病に倒れ、翌月11日に没し、その葬儀がこの舞台上で営まれました。主を失った劇場は大正5(1916)年に住友総本店に購入され、壁と屋根は元のままに、他の部分を模様替えして総本店別館などとして使用されました。戦後には北浜カトリック教会として残っていましたが、昭和40年頃に惜しくも取り壊されました。(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



ビルの緑地帯にある顕彰パネル
(中央区北浜4-4)